

第2回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議

次 第

日 時 平成25年1月30日（水）

16:00～

場 所 本庁舎4階政策会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」推進状況について

（2）重要課題への対応について

（3）方策のマネジメントについて

浦和美園～岩槻地域成長・発展に係る重要課題(案)

●重要課題

浦和美園駅周辺のまちづくりの促進

- ・魅力的な施設誘致
- ・ブランドイメージ(スポーツ・環境など)

岩槻駅周辺の観光拠点化

- ・観光機能拠点の早期整備
- ・常時、人が訪れる仕組、イベント強化

〈理由〉

○両地区では本市の副都心として、全市を牽引する取り組みが期待される。

○成長・発展プランの成長目標(定着人口・交流人口増)の鍵を握る。

成長・発展プランに位置づけた方策を鋭意推進するが、目標の達成を加速させるため更なる創意工夫、問題点の解決が求められる。

概ね5年後の成長目標

【浦和美園地区】

- ・定住人口 約4千人超増
- ・交流人口増 商業・業務施設[来訪者8千人/日超増・従業者千人超増]
教育施設[学生千人超増] イベント開催[約3万人/年超増]
スポーツ振興(例:サッカー観客回復[H23約2.9万人/試合⇒過去平均約4.2万人/試合])

【岩槻地区】

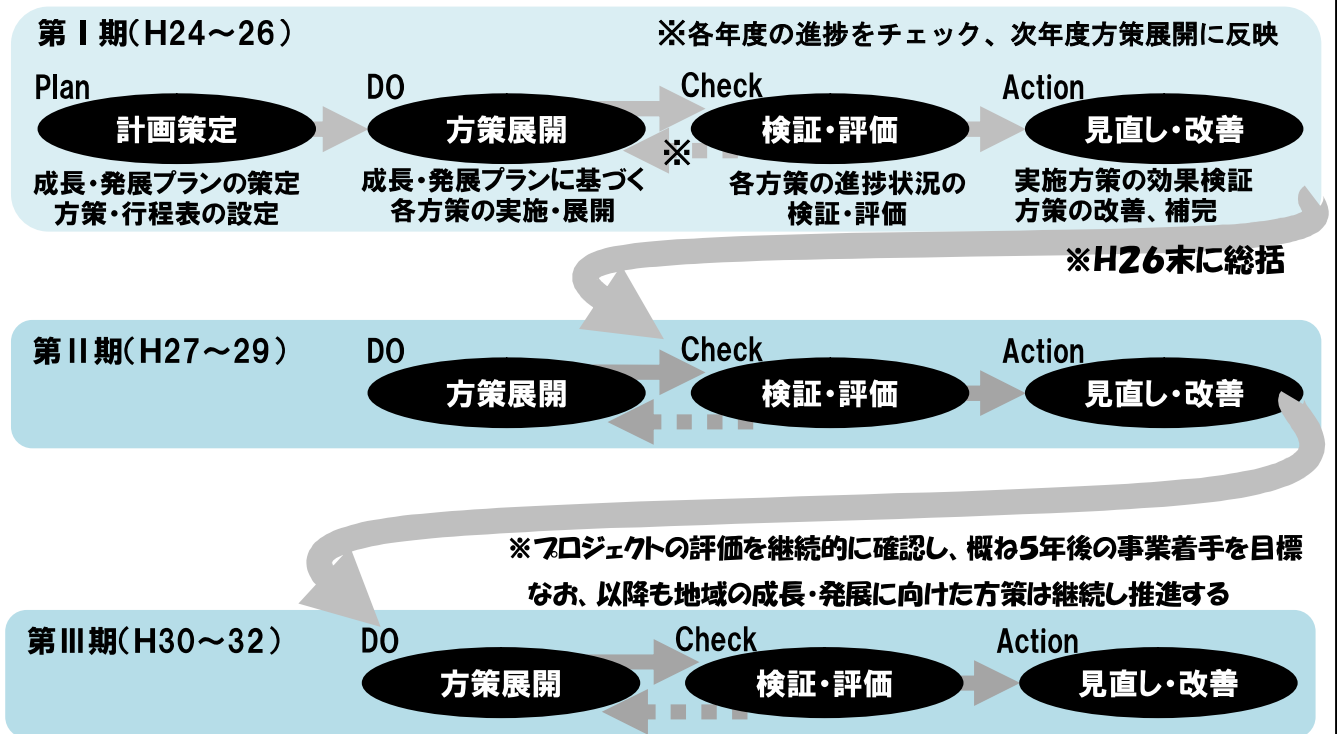
- ・交流人口増(観光機能拠点[約7万人/年超増] イベント開催[約3万人/年超増])

「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」のマネジメント

▶「浦和美園～岩槻成長・発展推進会議」におけるPDCAサイクルによるマネジメント

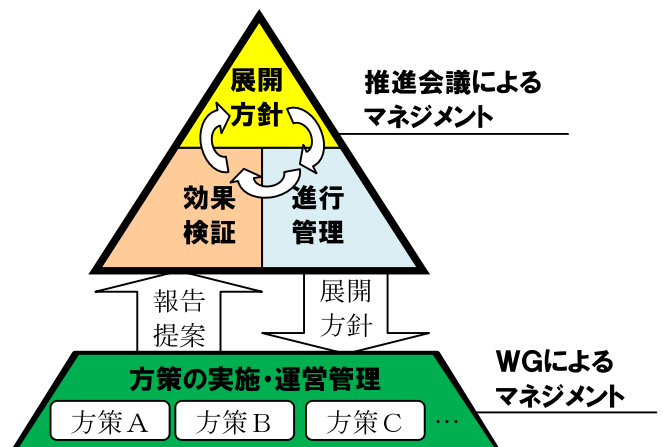
- ・「浦和美園～岩槻地域成長発展プラン（以下、「成長・発展プラン」という。）」について、迅速、かつ継続的に取り組むため、市長を座長として設置した庁内推進組織「浦和美園～岩槻成長・発展推進会議（以下、「推進会議」という。）」において、PDCAサイクルにより、マネジメントを着実に実施する。
- ・推進会議では、年度毎に方策の実施状況、効果測定結果を検証するとともに、方策の改善、補完を行う。
- ・また、「成長・発展プラン」に基づき、3年毎にⅠ期（H24～26）、Ⅱ期（H27～29）、Ⅲ期（H30～32）に区分し、区分の最終年度において、方策の進捗状況・効果の総括を行い、次期の取り組み方針を整理する。

〔PDCAサイクルによる「成長・発展プラン」のマネジメントの進め方〕



▶マネジメントの体制と役割

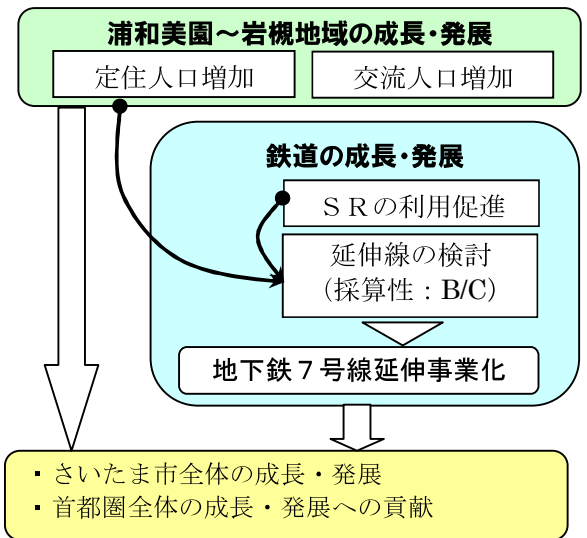
- ・マネジメント体制は、推進会議と作業部会（WG）を中心に構築する。
- ・推進会議は、方針決定、進行管理及び効果検証の役割を担う。
- ・作業部会（WG）は、方策の着実な実施、運営管理を行うとともに、推進会議への進捗状況、課題の報告及び対応策の提案等を行う。なお、方策の展開にあたっては、関係機関や市民との連携を図る。



「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」の進行管理

概ね5年後の成長目標の達成について

- 浦和美園～岩槻地域の成長・発展について、概ね5年後の成長目標を設定し、進行管理を行う。



【概ね5年後の成長目標】

地区	評価指標	概ね5年後の目標値	検証データ	年度スケジュール					
				H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
浦和美園周辺	定住人口	4,000人超増	住民基本台帳 (対象年度-前年度)	魅力発信	1,000人超増		2,000人超増	3,000人超増	4,000人超増
	交流人口	商業・業務施設来訪者	8,000人超増	来訪者数	誘致活動			8,000人/日超増	
		教育施設学生	1,000人超増	新規立地大学・専門学校等学生数	誘致活動			1,000人超増	
		イベント開催	約30,000人/年超増	開催イベント入込客数	誘致活動			約30,000人/年超増	
		スポーツ振興	サッカー顧客回復 H23:2.9⇒4.2万人/試合	埼玉スタジアム1試合平均観客動員数	誘致活動			サッカー顧客回復 29,000人/試合⇒42,000人/試合	
岩槻駅周辺	交流人口	観光機能拠点	観光機能拠点来訪者数	拠点整備			70,000人超増		
	交流人口	イベント開催	開催イベント入込客数	企画・拡充	20,000人超増		30,000人超増		
浦和美園～岩槻間	地域連携の進展	目白大学との連携 農業交流	目白大学公開講座 地域イベント入込客数	企画・調整			公開講座開催・地域イベントによる交流人口増		
	公共交通利用促進による移動量増	鉄道利用者増 バス利用者増	鉄道・バス乗客数	検討・調整			鉄道・バスの利用者増		

マネジメントシートによる年度内の進行管理

- 概ね5年後の成長目標の進行管理を着実にを行うためには、各方策の内容・スケジュール、各年度の進捗を正確に把握し、成長目標達成の課題検証を行い、方策展開へ反映する必要がある。
- 共通フォーマット（マネジメントシート）を活用することで、各方策の内容・スケジュール・進捗状況を正確に把握するとともに、その課題や方向性を効果的に検証し、行程表に掲げた43の方策全てについて一元管理を行う。

浦和美園～岩槻地域成長・発展プロジェクト マネジメントシート(案)

浦和美園～岩槻地域成長・発展プロジェクトマネジメントシート 作成年月日 平成 年 月 日

方策名 No.			
事業名			
担当所管			
担当者		連絡先	
関係所管	—		

事業概要 (平成 年度～平成 年度) ※事業位置・概要を示す図がある場合は添付

事業効果

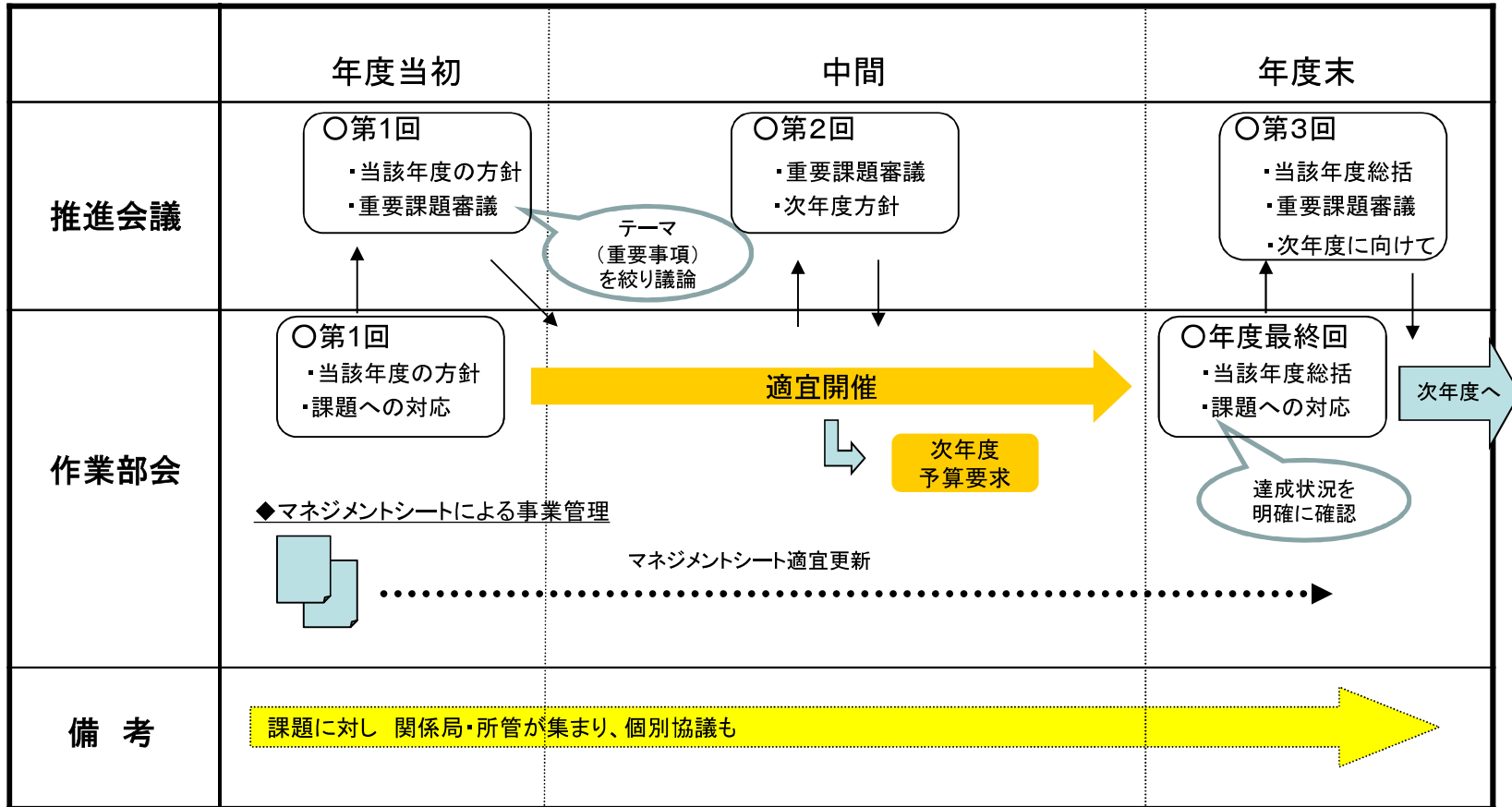
事業スケジュール	事業費 (単位 千円)	備考

取組の達成度	取組内容	目標	実績

年度末
記入箇所

備考 (今後の課題、 取組の方向性)	
--------------------------	--

■浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 年間スケジュール(案) 平成25年度



◎地域の成長・発展に向けては、庁内のほか、関係機関、市民組織等とも連携を図る。

【関係機関との連携】 ○7号地域成長・延伸実現マネジメント会議(市、県、国、SR、鉄道・運輸機構)

○みそのウイングシティ事業連絡調整会議(市、UR)

【市民組織との連携】 ○地下鉄7号線延伸事業化推進期成会(商工会議所、自治会、大学等)

※また、県等関係機関、市議会、県議会、市民団体、市民との個別協議・連携も

第2回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1. 開催日時：平成25年1月30日（水）16：00～16：50
2. 場所：さいたま市役所 4階 政策会議室
3. 出席者：（座長）清水市長、（副座長）小林副市長、木下副市長
（委員）審議監、技監、政策局長、財政局長、市民・スポーツ文化局長、環境局長、経済局長（代理）、都市局長（代理）、見沼区長、緑区長、岩槻区長

4. 議事概要

（1）座長あいさつ

- ・浦和美園～岩槻地域成長・発展プランにとりまとめた43の方策を鋭意推進し、成長目標として掲げた定住人口・交流人口の増加を1日も早く達成する覚悟で進めていく。
- ・また、予算編成についても、浦和美園～岩槻地域の成長・発展のために投入する予算は約70億円、昨年度から約32%の増加となっている。
- ・その中で新規予算事業として、浦和美園～岩槻間の快速バス運行をはじめ、12事業で約1億円が計上され、実行段階へ移行し行動するための予算編成となっている。
- ・さらに、予算に関わらず、職員の知恵と工夫により、地域の成長・発展に寄与する事業、県や関係機関と連携し進める事業、期成会や市民団体など市民力を結集した事業なども積極的に展開していきたい。
- ・浦和美園～岩槻地域の成長・発展に全力で取り組み、本市の新しい未来を切りかい拓いていくために、委員の皆さんには、全面的な協力をお願いする。

（2）事務局より、「浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの推進状況について」、「重要課題への対応について」、「方策のマネジメントについて」について一括して説明。

- ・推進会議設置要綱の改正、地下鉄7号線に関する最近の動向について、報告。
- ・成長・発展プランの推進状況、重要課題、方策のマネジメントについて説明。
- ・マネジメントシート作成を今後、依頼する旨説明。

（3）意見交換（委員等の発言）

○平成25年度推進事業について

- ・（仮称）岩槻・城下町まつり

区政誕生10周年事業を兼ねて実施する新規事業として、地元のまつりとの連携を図り多くの集客を見込む。実行委員会を想定し、さまざまなノウハウを培った色々な団体からの構成を検討する。各関係機関の協力を得て相乗効果を期待し実施したく計画を進めている。

- ・（仮称）浦和美園インフォメーションセンター

情報発信や誘致の窓口、シティセールスの窓口として設置予定。政策局、都市

局、経済局、SR、UR、県とも協力して実施し高い効果をねらう。

・快速バス運行

来年度、1日8便の運行を予定し、バスのラッピングも行う。観光の関係機関や大学とも連携し実施していく。

・イベントシャトルバス運行

今年度は、まちかど雛めぐり期間中の4日間で運行。SRの中吊り広告、都内のポスター掲示等の協力を得て多くの集客を得たいと考えている。来年度も実施。

・情報発信（ウェブサイト）運営

3月開設を目途に準備中。

・見沼田んぼ散策事業

これまで10回実施し、25年度も実施する。今年度は、昨年の11月25日に開催して多数の参加あり。25年度は新たな魅力ある散策コースを検討中。

・3区連携ウォーキング

浦和美園駅から日光御成道を通り岩槻に向かうウォーキングイベントを検討中。浦和美園駅に人が集まり、鉄道を育て、そして緑、見沼、岩槻といった地域を育て、行動をするというこの3つの目標に従って実施する。今後実行委員会を設置し、開催は、秋の彼岸花が咲いている時期を検討予定。

・（仮称）人形会館準備業務

団体からの要望を踏まえつつ、現在も協議を進めている。

・旧岩槻区役所の解体業務

平成25年度から26年度の2か年にかけて解体事業を進める予定。

・浦和美園駅東口前複合公共施設整備

現在、設計をしており、27年度開設予定で進めている。

・さいたまシティカップ

現在、海外からの強豪チームを招くべく事務を進めており、25年度の早い時期の実施を目指している。

・スマートホームコミュニティの普及

特区事業3本柱の一つで環境局と都市局とで連携し、浦和東部第一地区の保留地で26年から28年にかけてスマートホーム約100戸程度を整備建築して街区をまたぐ電力ユーズ等によりエネルギーの地産地消を行えるよう構築。成果は市域へ広げていきたい。25年度はエネルギー需要予測マネジメント設計、スマートホームコミュニティ基盤整備調査設計などを実施予定。

・環境総合特区の情報発信事業

DVD等を作成予定。スマートホームコミュニティのイメージに加え、現在、浦和美園全体で進めようとしているまちづくりの将来像が見えるようなものをつくりたい。将来的には、浦和美園駅東口複合公共施設の一角で情報発信する考えだが、まずは浦和美園駅構内のインフォメーションセンターでの発信を想定する。

○今後、推進会議で議論すべき課題について

- ・大学や企業誘致について、問題になるのは、大学ではインセンティブの有無、商業関係の企業では用途地域の変更や地元調整であり、民間のスピードに合わせた行政の対応が必要。推進会議で議論するテーマになるものとする。
- ・浦和美園から岩槻地域までの成長・発展のためには、浦和美園地区と岩槻駅周辺地区の2つの重点地域だけでなく、2地区の間の中間駅を含めた区間の問題についても早く、将来像を描く必要がある。
- ・中間駅地点は農地が多く、法体系規制がある。農地の利用は県や国の関与があり、今のうちから、市のスタンスを決めていく必要がある。

(4) まとめ

【座長より】

○今後の取組方針について

- ・浦和美園の企業・教育機関の誘致は、時間もかかるため早めに取り組む。誘致が決まれば地域のイメージが決まってしまうくらい重要度が高い。浦和美園、中間駅部分は、早めにスタートし取り組む。インセンティブ、土地利用の問題など色々な課題に対し、関連部局、都市機構と協議、調整を行い、企業のニーズや全体の将来像とすり合わせをしながら進めるように。
- ・ソフト事業については、各区等が連携し進める。
- ・特に浦和美園では都市局、経済局、市民・スポーツ文化局、政策局、環境局が連携し進める必要がある。
- ・岩槻の観光政策の推進に当たっても、区、経済局、市民・スポーツ文化局、政策局が連携し進めるように。
- ・当地域は、さいたま市に残された大規模開発ができる唯一の場所であり、これからのさいたま市がどういうふうに進んでいくかモデルになる場所でもある。市の成長発展のための重要な役割を担うプロジェクトであり、まさにこの地域の成長・発展がさいたま市の成長・発展につながっていくという認識のもとに、全庁あげて連携し、早く取り組むべきところは積極的に取り組むように。

○次回推進会議のテーマについて

- ・今回は、テーマを絞り議論する。浦和美園駅周辺の魅力ある将来像、企業・教育機関等の施設誘致は定住・交流人口増の要であり、都市局、環境局、政策局を中心に準備し、浦和美園駅周辺の成長・発展に向けた議論をする。
- ・企業等の誘致、将来像発信の観点からもビジョン、コンセプトについて固めていく。

〔事務局〕 政策局 東部地域・鉄道戦略室